

心に残る文化財子ども塾 雲南市立斐伊小学校

1. 活動の概要

6月6日（火）、雲南市立斐伊小学校で、6年生18人を対象に『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに、古代出雲歴史博物館職員が、学校周辺の遺跡や『出雲国風土記』の記述を紹介し、奈良時代の木次について学習しました。自分たちの住んでいる町にたくさんの遺跡があることを知った子ども達は、遺跡から出土した本物の奈良時代の食器を手にとって熱心に観察していました。

続いて体育館に移動し、奈良の大仏の実物大パネルの組み立てを体験しました。18人で協力して約13分でパネルが完成すると、子ども達から歓声があがりました。記念撮影をした後、大仏の説明を聞いた子ども達は、さらに関心が高まったようでした。

その後、理科室に移動し、3人一組に分かれて和同開珎作りを体験しました。カセットコンロで合金を溶かし、型に流し込む時には緊張した様子でしたが、型を開けて和同開珎の枝銭が現れると再び歓声があがりました。

2. 活動の様子

1) 奈良時代の木次町について学ぶ



「学校の近くにはこんな遺跡があります。」

2) 古代体験活動～奈良の大仏パネル～



床一面に散らばったパネルを協力して並べていきます。



完成！みんなで記念撮影をしました。

3) 古代体験活動～和同開珎作り～



鑄型を開けると…「やった！きれいに出来ている！」 「きれいに切り離せるかな？」

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから

- ・本物の大仏を見たい。
- ・大仏の細かい所の長さ、大きさを知りたい。
- ・小さいのでいいから、大仏を本当の作り方で作ってみたい。
- ・年月をかけてまで大仏を大きくした理由を知りたい。
- ・昔の人は和同開珎を1日何個作っていたのか知りたい。
- ・ほかの体験活動もしてみたい。
- ・昔の人の暮らしについてもっと知りたい。昔の人の家を見たい。
- ・昔の暮らしを体験してみたい。竪穴住居で暮らしたい。
- ・遺跡の発掘をしてみたい。

② 担任の先生から

- ・須恵器を触らせてもらったり、大仏の本物の大きさを体験させてもらったりと、印象に残る体験をさせてもらったことで、児童が長時間でも興味を持って活動できた。
- ・特に和同開珎作りは昔の人はもっとたくさん作っていたことに思いをはせることができたようであった。
- ・自分たちの住んでいる町の歴史を教えていただいたことがかなり心に響いたようで、後日の学習で子ども達の話題にあがった。
- ・歴史の苦手意識のある子もとても楽しく聞くことができた。

③ 古代出雲歴史博物館から

子ども達は、学校や自分達の家付近に、授業で学習した古墳時代や奈良時代の遺跡があることを知って、歴史を身近に感じた様子でした。また、体験活動を通じて、奈良の大仏や和同開珎、そして地域の歴史へ興味を持ってもらうことができたのではないかと思います。

奈良の大仏や和同開珎、昔の人の暮らしについて、「もっと知りたい」という感想がたくさんありました。授業では時間の都合で説明しきれない内容も、後から調べることができるように、配布資料の工夫をしていきたいと思っています。